

# 盛岡地区かわまちづくりの概要と進捗について

---

平成26年2月19日

岩手河川国道事務所・盛岡市

# 目次

■かわまちづくりの概要	1
■今年度の活動等	
(1) オープンハウスの開催	6
(2) かわまち勉強会の開催	12
(3) 河川イベントの実施（かわまちづくり事業範囲）	19
(4) -① 管理用通路の設計	20
(4) -② 中州撤去	23
■今後の予定	
北上川明治橋下流部 特殊堤の色彩について	29
サインシステムについて	30
今後の予定について	32

## ■盛岡地区かわまちづくりの全体計画

施策方針	施策の方向・主な整備施設イメージ	市民からの提案
<b>1. ひと・かわ・まちの連携の再構築</b>		
1) かわでの市民活動の促進	・WS、オープンハウス等での議論の場、意見収集の場の提供	①多様な連携・参画の仕組づくり ②協働の維持管理、市民への周知 ③水辺・水面利用
2) かわの魅力を伝える情報発信	・市民団体活動の場・情報発信基地としての場の提供	
3) 多様な参画の仕組みづくり	・情報発信地・交流拠点としてのPR・活動支援 ・子育てに川を活かす仕組みづくり	
4) イベントによる利用機会提供	・現状の各種イベントの推進・情報発信による活性化	
<b>2. かわとまちの自然環境の保全・活用</b>		
5) 自然環境保全の推進	・自然環境の情報共有と管理体制の構築	④かわを学べる水辺空間づくり ⑤河道内樹林の適正な管理 ⑥砂州の管理 ⑦河道内の植栽・管理体制づくり
6) かわを学べる水辺空間づくり	・浅岸橋付近のサケ産卵場周辺の整備 ・学べる水辺空間の創出	
7) 河道内植生の適正な管理	・河道内樹林の管理	
8) 河道内の植栽・管理体制づくり	・河原植生の管理 ・植栽方法等のルール・協定づくり	
<b>3. かわまちの歴史・景観の保全・活用</b>		
9) まちの歴史を活かした水辺づくり	・先人たちの歴史を伝える場づくり	⑧かわ・まちの歴史を活かした水辺づくり
10) 橋詰・橋上の視点場づくり	・「橋」を活かした散策ルートづくり(たまり場・休憩施設等)	
11) 街並みと調和した護岸の維持・補修	・コンクリート護岸の補修・修景整備(合流点～明治橋下流)	
12) 景観保全・形成の実施体制づくり	・川沿いの古い街並みの保全と景観形成方針 ・河川・水辺空間の景観づくり方針	
<b>4. かわとまちを結ぶ連携空間の創出</b>		
13) 水辺の遊歩道の整備	・フットパスの延伸整備	⑨水辺の遊歩道の整備 ⑩まちとかわを結ぶアクセス整備 ⑪河川利用拠点の整備 ⑫サインシステム
14) まちと川とを結ぶアクセス整備	・川へのアクセス整備 ・バリアフリー坂路の整備・改良 ・街並み環境整備との連携による動線確保(川へのアクセス)	
15) 河川利用拠点の整備 (例:盛岡城跡公園との一体的整備)	・歴史文化施設との一体的水辺空間整備	
	・盛岡城跡公園との一体的休憩・オープンカフェ等の整備	
	・ビクトリアロードの修景整備	
16) サインシステムの設置	・統一サインの整備(河道内・まちなか観光ルート)	
17) 川とまちの連携空間の形成	・沿川未利用地等を活用した水辺に顔を向けた水辺空間整備	

※赤字は終了 ※青字は実施継続

## ■盛岡地区かわまちづくりの事業の概要

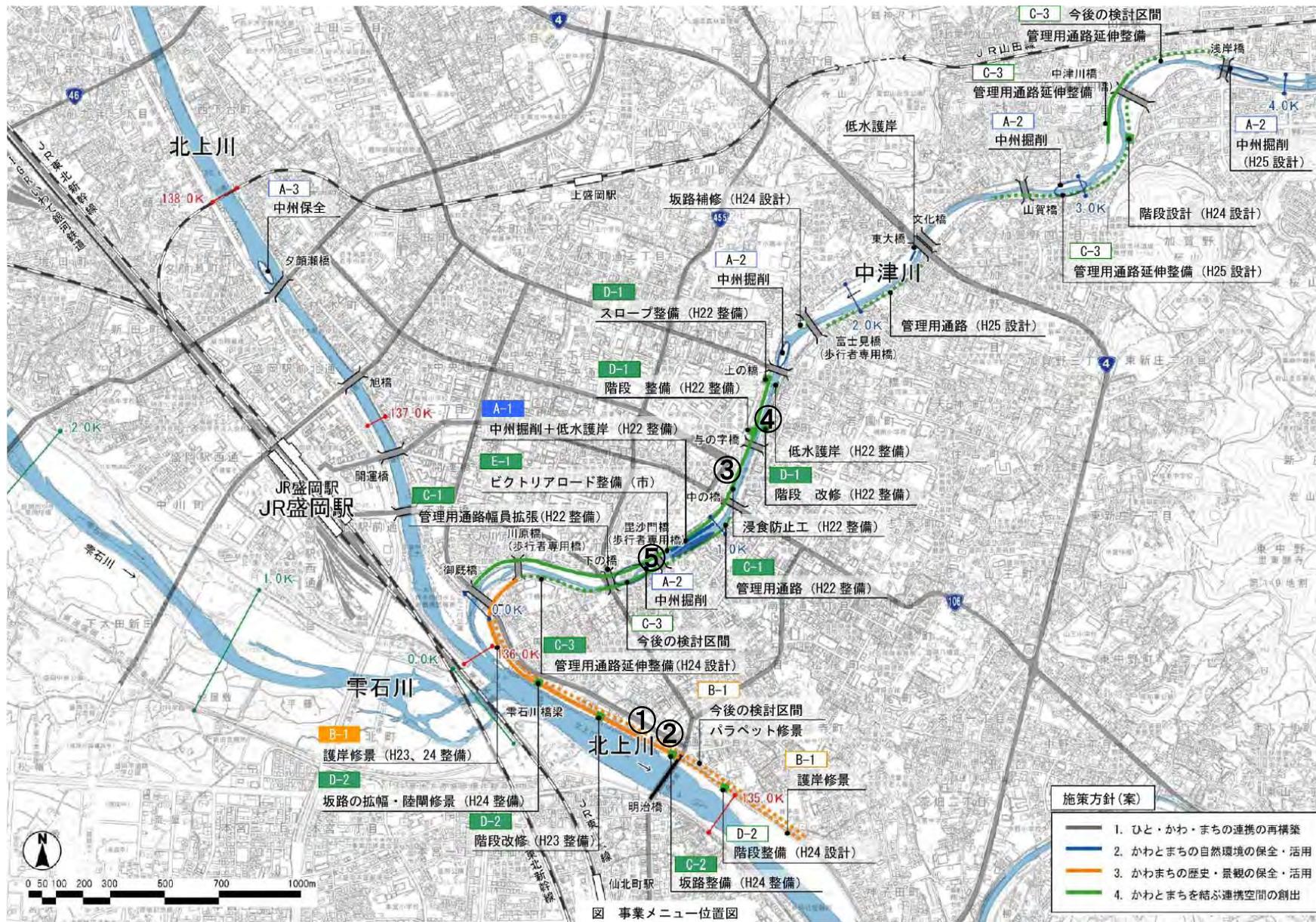


図 事業メニュー位置図

## ■整備箇所

①管理用坂路(北上川)



②護岸修景(北上川)



③遊歩道の延伸・拡幅整備(中津川)



④階段の新設整備(中津川)



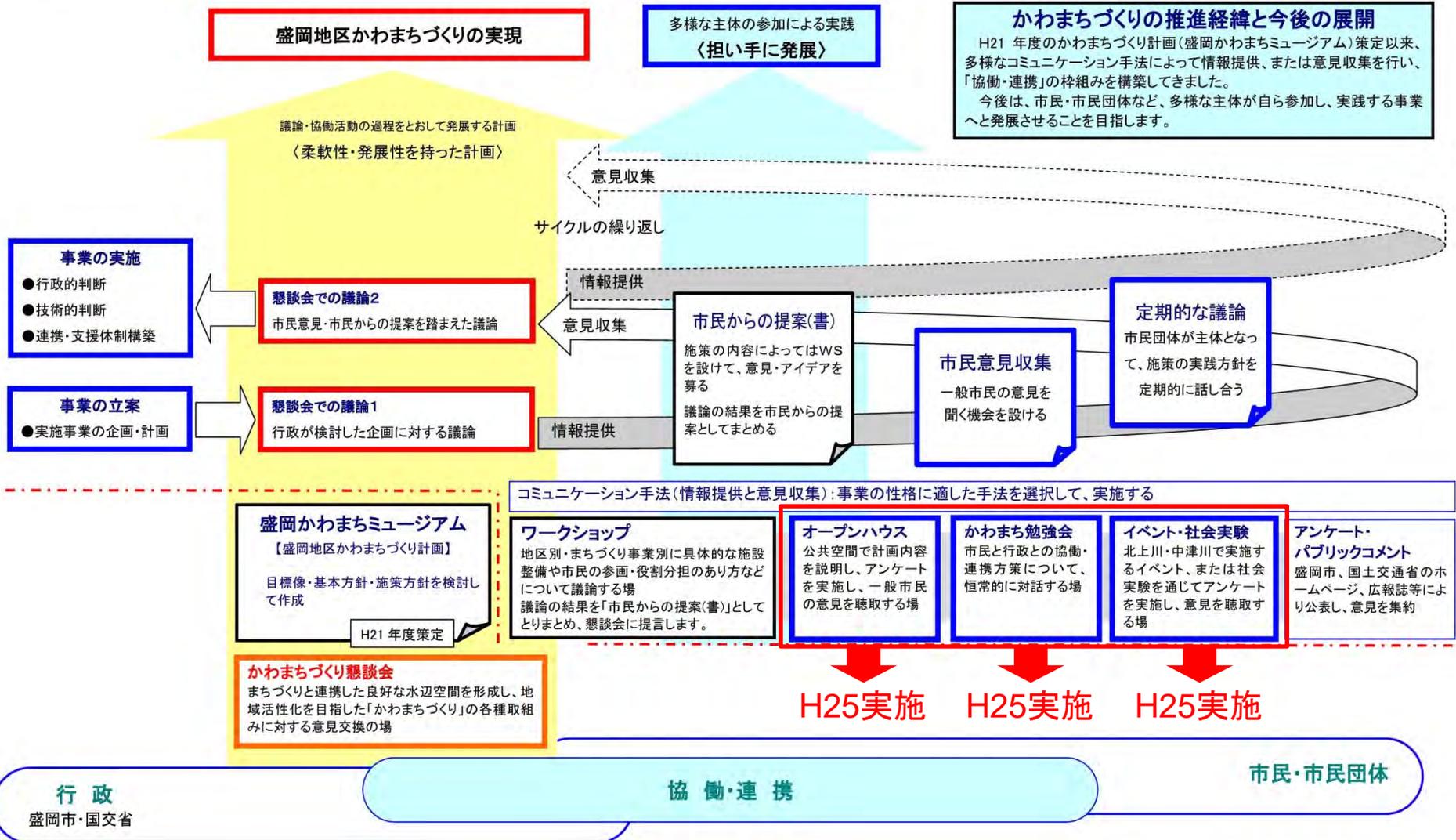
⑤ビクトリアロードの修景整備



## ■事業推進スタイル

社会や市民ニーズ・多様な関わり柔軟に対応できる計画策定・事業推進スタイル

- 1 「計画・実行・点検・見直し」のプロセスを推進
- 2 情報発信・意見集約
- 3 多様な意見集約の場、活動の場を用意・支援し、意見の反映の過程の見える化



## ■かわまちづくりの事業メニュー

### 市民からの12の提案

#### ■提案1 (ひと・かわ・まちの連携の再構築)

- ①多様な連携・参画の仕組づくりについて
- ②協働の維持管理、市民への周知について
- ③水辺・水面利用について

#### ■提案2 (かわとまちの自然環境の保全・活用)

- ④かわを学べる水辺空間づくり
- ⑤河道内樹林の適正な管理
- ⑥砂州の管理
- ⑦河道内の植栽・管理体制づくり

#### ■提案3 (かわとまちの歴史・文化・景観資源の保全・活用)

- ⑧かわ・まちの歴史を活かした水辺づくり

#### ■提案4 (かわとまちを結ぶ連携空間の創出)

- ⑨水辺の遊歩道の整備
- ⑩まちとかわを結ぶアクセス整備
- ⑪河川利用拠点の整備
- ⑫サインシステム

## ■今年度実施・検討事項

### (1) オープンハウスの開催

- ・パネル展示とアンケート調査を実施

### (2) かわまち勉強会の開催

- ・新山河岸とのつながりや、中津川全体の維持管理等について意見交換

### (3) 河川イベントの実施

- ・年間を通して多くのイベントに利用されている。

### (4) 平成25年度設計

- ・管理用通路
- ・中州撤去

# (1)オープンハウスの開催

## 1)開催概要

24時間テレビイベント・テレビ岩手・内丸大縁日の会場にて、パネル展示とかわまちづくりに関するアンケート調査を実施しました。

- (1)実施日時：平成25年8月25日 10:00~16:00
- (2)実施場所：中津川中の橋下流右岸
- (3)実施内容

- ①盛岡地区かわまちづくりパネル展示
- ②エコロジカル・ネットワークパネル展示
- ③盛岡地区かわまちづくりとエコロジカル・ネットワークに係るアンケート調査

(調査人数：123人)



展示パネル



アンケート調査票



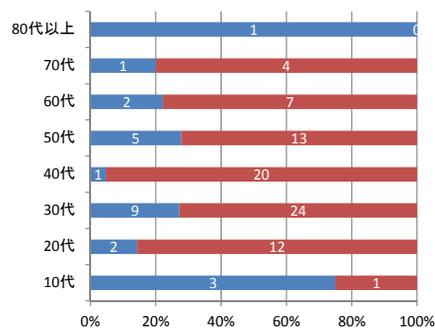
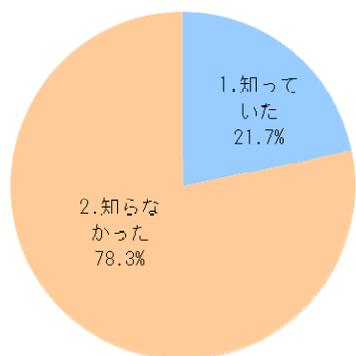
オープンハウスの実施状況

# (1)オープンハウスの開催

## 2)アンケート結果

### 1 「かわまちづくり」事業の認知度について

「かわまちづくり」の取り組みを知っている人は、全体の2割程度である。  
年代別に見ると、40代の認知度が極端に低い。

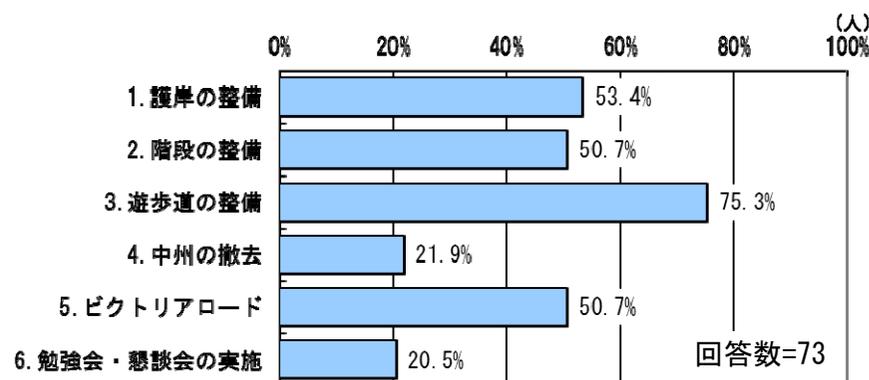


過去のアンケート調査結果と比較すると、認知度は前年に比べて低下している。  
絶対数で比較すると、「知っていた」と回答した人は、16人、25人、24人と推移しており、あまり変化していない。



### 2 取り組みの認知度について

最も認知度が高かった取り組みは、「遊歩道の整備」であった。  
次いで、「護岸の整備(53.4%)」、「階段の整備(50.7%)」が高かった。



1. 護岸の整備



2. 階段の整備



3. 遊歩道の整備



4. 中州の撤去



5. ビクトリアロード



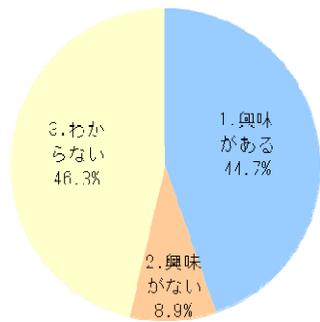
6. 勉強会・懇談会の実施

「盛岡かわまちづくり」事業の更なる認知度の向上のための広報や情報発信が必要である。

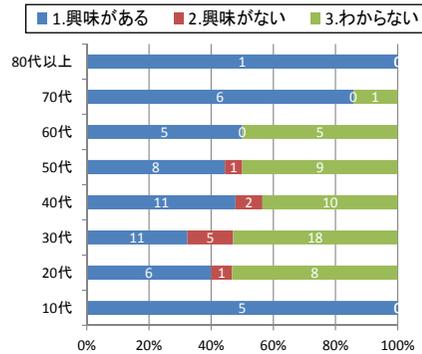
# (1) オープンハウスの開催

## 3-(1) 北上川エコロジカルネットワークの取り組みへの興味・関心度について

北上川エコロジカルネットワークの取り組みに「興味がある」と回答した人は全体の約4割だった。  
年代別では、70代の回答者の関心度が高かった。



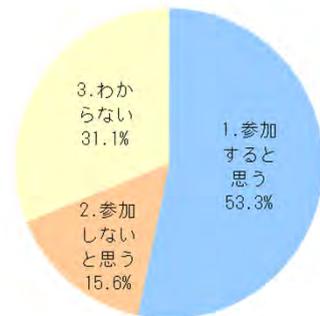
回答数=123



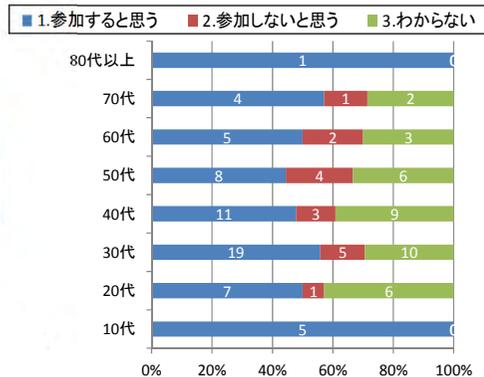
回答数=113

## 3-(2) サケのイベントなどへの参加意向について

サケのイベントなどに「参加すると思う」と回答した人は半数以上の53.3%であった。  
年代別では、ほとんど差が見られなかった。



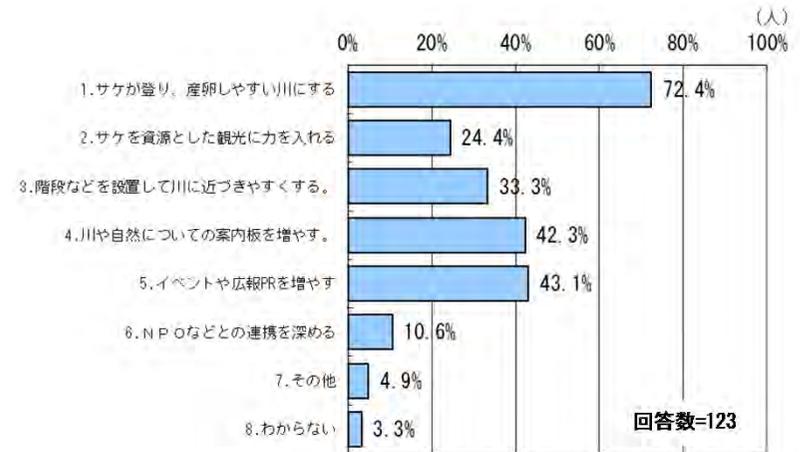
回答数=122



回答数=112

## 3-(3) 今後の進め方で重要と思うことについて

今後の進め方で重要と思うことについて、「1. サケが登り、産卵しやすい川にする」(72.4%)が最も多かった。  
次いで、「5. イベントや広報PRを増やす」(43.1%)、「4. 川や自然についての案内板を増やす」(42.3%)等の回答が多かった。



回答数=123

「北上川エコロジカル・ネットワーク」の取り組みについて、サケの遡上環境の整備やサケのイベントの実施、広報PRを行っていく必要がある。

## 4「かわまちづくり」についての意見

イベント	釣りイベント等も、他にない珍種の釣り大会などあれば良い。
	市民が河川敷を利用して行うイベントの実施。商売もあり。
	紫波町は、環境マイスターの勉強をして、それをいかしたイベント等を行っています。(参加者100名をこえています)
	市民に呼びかける清掃活動
	川の近くのゴミひろいをする。
広報	このアンケートで初めて知ったので、広報に力を入れていいと思います。
	広報等は、これからも継続されます様お願い致します。
	環境について学ぶ大学生と連携してPR活動を試みる。
	高校生、大学生の教育の一環として、一緒に取り組んでみる。
	夕顔瀬橋から見る岩手山と北川上の合わさった風景が大好きです。ぜひPRしてください!!
施設設置等	子供用の学習看板増やす。
	駐車場が、もっと近くにあれば良い。イベントの時、駐車場困るので。
	水車を1カ所以上で設けて欲しい。
	ゴミを出さないものを売るなど、食べ飲みながら歩いて楽しいものにすれば活用が深まるでしょう。
	明治橋から水道橋の間の遊歩道の整備。遊歩道は2mの幅が必要。途中にトイレが2カ所必要。

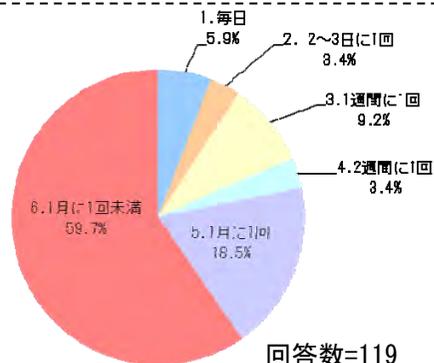
川づくり	自然と共存できる川づくり
	魚がたくさんいる川づくり
	なるべく自然を残す。コンクリート化しない
	これからも、きれいな川でいてほしい。
利用	中洲を利用したあそびができるようになったらうれしい。
	夏は木陰が遊歩道にかかるようにあれば良いと思う。盛岡は道路がせまいので、川べりは多く活用出来るようにしたい。
	夏の場合は、猛暑の防止対策も必要。
その他	町内で川で子供が遊べる中津川は貴重です。
	川の流れるすばらしい町、川がもっと身近になるようにお願いします。

かわまちづくりについて、「イベント」、「広報」、「施設」、「川づくり」、「利用」に関する意見が出た。  
中でも、河川でのイベントや利用についての要望、広報についての要望に関する意見が多く出た。

# (1) オープンハウスの開催

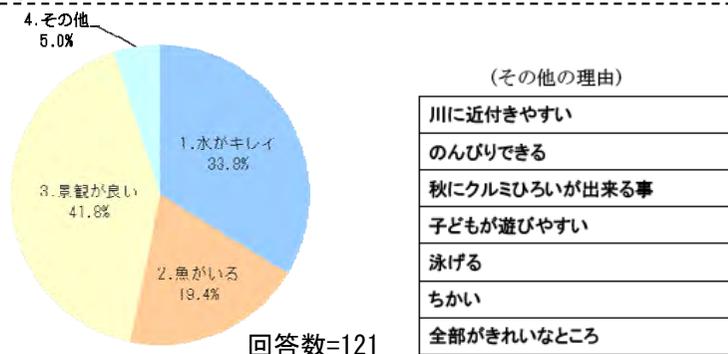
## 5-(1) 中津川に足を運ぶ回数について

散歩やジョギングなどで中津川に足を運ぶ回数について、「6. 1月に1回未満」と回答した人が最も多かった。



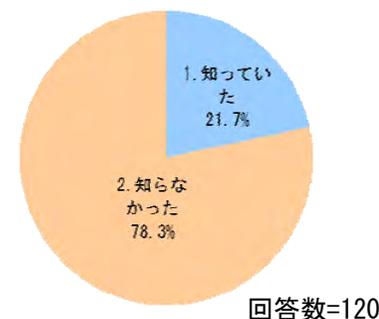
## 5-(2) 中津川の好きなところについて

中津川の好きなところとして、「景観が良い」と回答した人が最も多くかった。次いで「水がキレイ」(33.8%)、「魚がいる」(19.4%)の順であった。



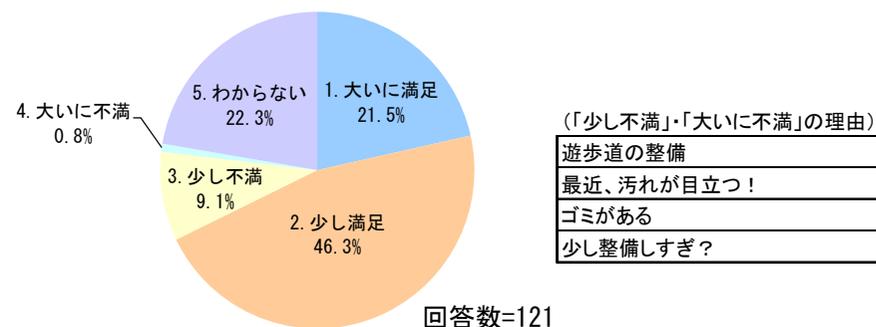
## 5-(3) 中津川の維持管理を岩手河川国道事務所が行っていることの認知度について

中津川(水道橋から下流の約4km)の維持管理は、国土交通省岩手河川国道事務所が行っていることを知っていた人は21.7%であった。



## 5-(4) 中津川の河川管理の状況の満足度について

管理状況の満足度について、7割弱の人が「大いに満足」と「少し満足」と答え、満足していることが分かった。「少し不満」、「大いに不満」の理由としては、「ごみがある」等の回答があった。



中津川の自然環境が良いという意見があった一方、管理についての認知度が低かったため、管理内容についてのPRが必要である。

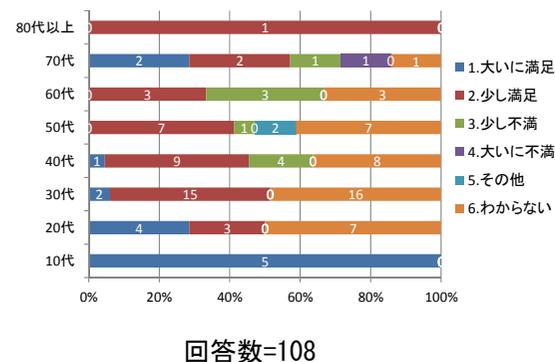
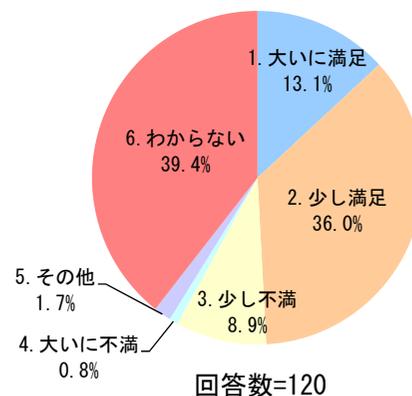
# (1)オープンハウスの開催

## 7 北上川や中津川の河川事業の満足度について

現在の北上川や中津川の河川事業の満足度について、「大いに満足」「少し満足」と回答した人は合わせて49.1%で、ほぼ半数が満足している。  
年代別では、60代、70代で不満の割合が多くなっており、その理由として、「河川敷の遊歩道整備をしてほしい」等の意見があった。

(「少し不満」「大いに不満」の理由)

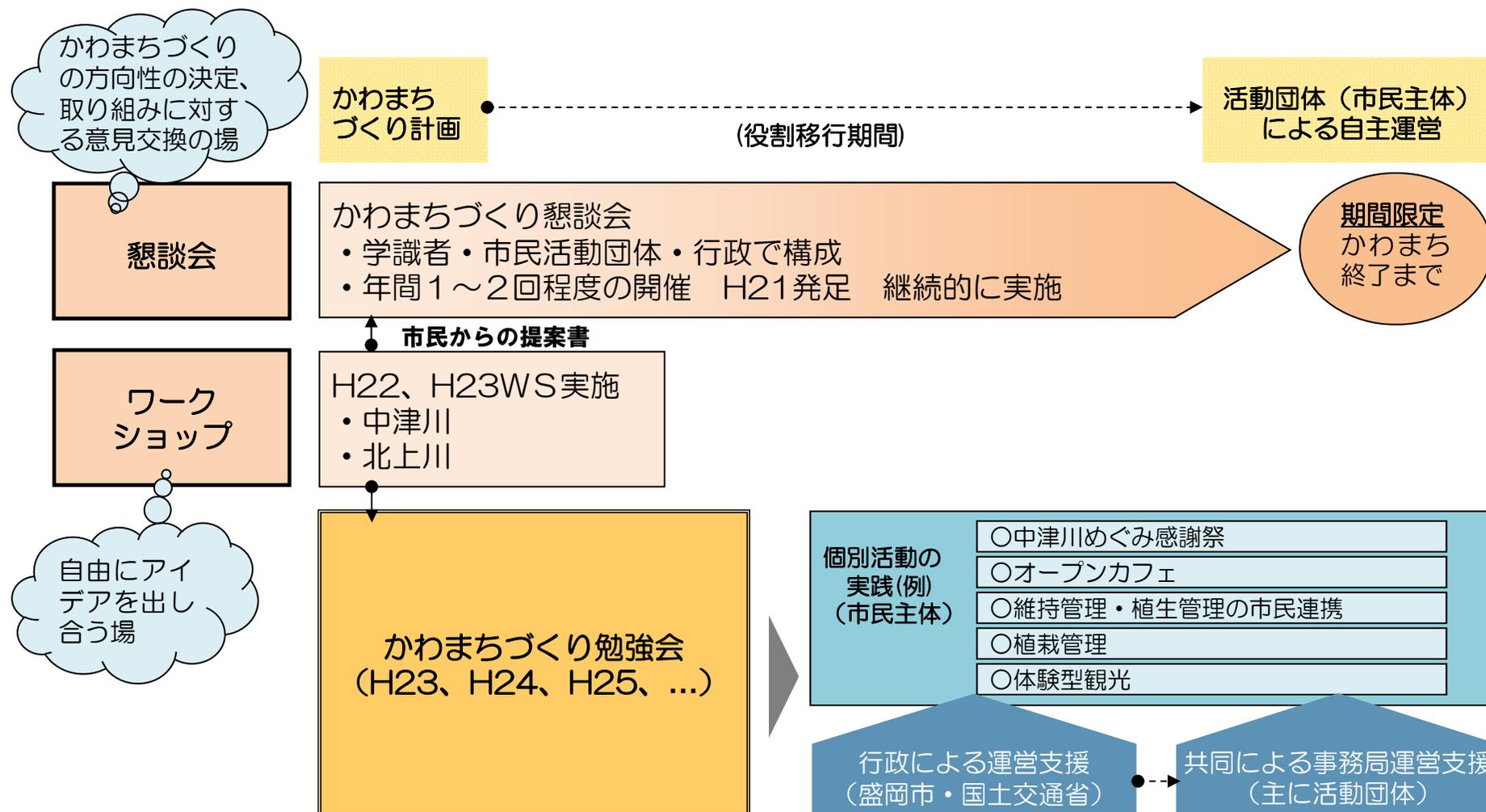
川の石垣をコンクリートにしたかと思うと、今度はまた石垣に。無駄なお金です。
何もしない方がよい
魚のすみよい所にして欲しい
何をしているのか全く知らなかった。
川原におりる場所が少しわかりにくい
あまり整備され、散歩しにくくなってるところ一部ある事
活用のセンスがない
草木の剪定、草刈をお願いしたい。
河川敷をもっと整備して、散歩できるようにしてほしい。
県盛岡振興局の対応と思いますが、明治橋の下に遊歩道、サイクリング道の整備。



## (2)かわまち勉強会の開催

かわまち勉強会とは…

かわづくりとまちづくりが連携する方策について議論を進め、実際に活動する団体を中心に、①実践を前提として、②テーマを絞り込み、③方策を見出すまで深く話し合うことを実践するものである。



## (2)かわまち勉強会の開催

### 【第3回かわまち勉強会】

第3回勉強会を開催（H25.9.24）し、コアメンバー・アドホックメンバー\*14名が集まり、議事について意見交換を行いました。

#### <議事>

- 北上川：新山河岸\*2での取り組みについて
  - 鉾屋町付近での整備について
  - イベントや利用計画具体案について
- 中津川：中津川に遡上するサケを観光資源としたまちおこしについて
  - サケ200kmの旅を応援する取り組みについて
  - サケを観光資源としたまちおこしについて

#### \*2新山河岸とは

北上川舟運の起点にあたり、明治23年の盛岡駅鉄道開通まで、城下の河港として重要な役割を果たした河岸。



#### \*1コアメンバー・アドホックメンバーとは <位置づけ>

コアメンバー：

個別の活動をする団体のリーダー役

アドホックメンバー：

テーマに関係する専門家・興味を持つ市民

#### <構成(H25年度)>

コアメンバー：11名

アドホックメンバー：4名(北上川)、6名(中津川)



意見交換の様子

## (2)かわまち勉強会の開催

### 2)開催結果

#### ■北上川:新山河岸での取り組み

＜鉾屋町付近での整備についての意見＞

- ・樹木は伐採してほしい。春綿毛、ヤナギの種が飛んでくる。
- ・自然に生えてきた樹木を伐って野原にしてしまうのは味気ない。

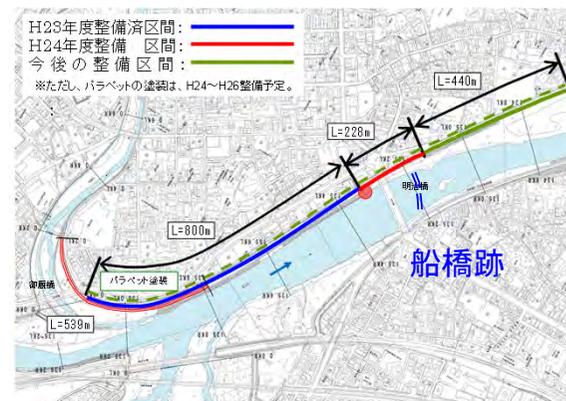
＜河川敷整備についての意見＞

- ・遊び場としては危ないので、舟橋という歴史的な景観を見せる、歴史を大事にした整備がいいと思う。



- ・環境、利用面に配慮した樹木管理など、利用しやすい整備について検討する。
- ・舟運の歴史をしのばせる水際の整備など、歴史を重視した整備について検討する。

第4回  
勉強会に  
提案

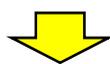


鉾屋町付近での整備

#### ■中津川:サケを観光資源としたまちおこしについて

＜観光資源として活用する方法についての意見＞

- ・現在の看板を工夫し、「サケが上ってきています」と表示できるようにしてはどうか。中津川流域施設連盟5館には「サケの情報掲示板」を設置し、遡上や見学場所などの情報を提供すると良い。
- ・サケをどう見れば面白いのか、雄と雌の体、行動に仕方など、観察の仕方が分かればいい。最後の産卵の瞬間を見られると感激する。
- ・中州を取ったら、サケが増えた。川の中をブルドーザーでかき回した方がサケにとっていいかも知れない。



- ・サケを見られる場所の設定・整備など、サケを観察しやすい整備について検討する。
- ・情報提供手段など、サケを資源とした観光のための情報提供のあり方について検討する。

第4回  
勉強会に  
提案



盛岡市内のサケの看板

### 【第4回かわまち勉強会】

#### 1)開催概要

第4回勉強会を開催（H25.11.26）し、コアメンバー・アドホックメンバー15名が集まり、第3回勉強会の話し合い結果に基づき、意見交換を行いました。

#### <議事>

- 北上川：新山河岸での取り組みについて
  - テーマ1：利用しやすい整備について
  - テーマ2：歴史を重視した整備について
- 中津川：中津川に遡上するサケを観光資源としたまちおこしについて
  - テーマ1：サケを観察しやすい整備について
  - テーマ2：サケを資源とした観光のための情報提供のあり方について



## (2)かわまち勉強会の開催

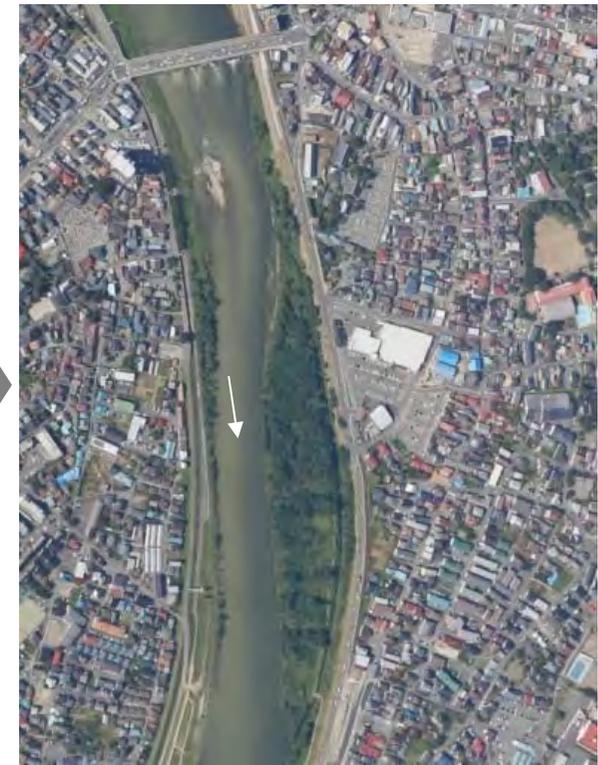
### ■北上川:新山河岸 伐採による景観の変化



樹木伐採計画



伐採前 (平成20年)



伐採後 (平成25年)

## (2)かわまち勉強会の開催

### 2)開催結果(新山河岸での取り組みについて)

#### ■テーマ1:利用しやすい整備について

＜利用しやすい整備についての意見＞

- ・樹木伐採計画について、3割は残すと記載してあるが、枝振りの良い木や名のある木は残す予定か。
- ・全域でニセアカシアが繁茂している。全体をみて、残したいという植生ではなかった。



- ・伐採計画に従って既存林を3割程度残し、整備を進めていくことを確認。
- ・ニセアカシアは根が浅く、倒れると危険であるため、優先的に伐採していく。

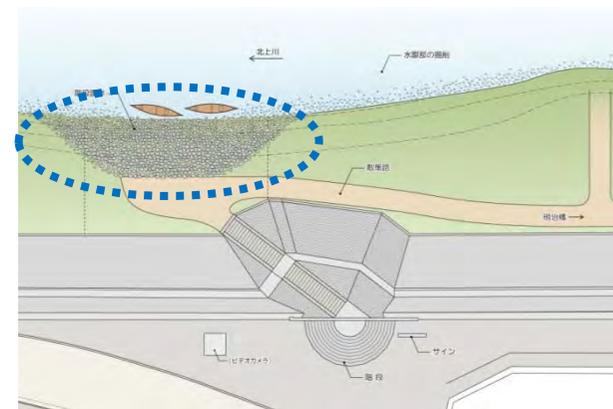
#### ■テーマ2:歴史を重視した整備について

＜歴史を重視した整備についての意見＞

- ・明治橋付近まで、材木町から川沿いを下る観光コースを開発できないかと考えている。新しい観光コースとなると思う。
- ・船着き場は、礫河原状だとすぐに土砂で埋まってしまうし、草も生えやすくなる。維持管理も考えて方向付けをしてほしい。



- ・材木町からの遊歩道での連続性を考慮した整備を行う。
- ・船着き場は、維持管理を考慮した形状とする。

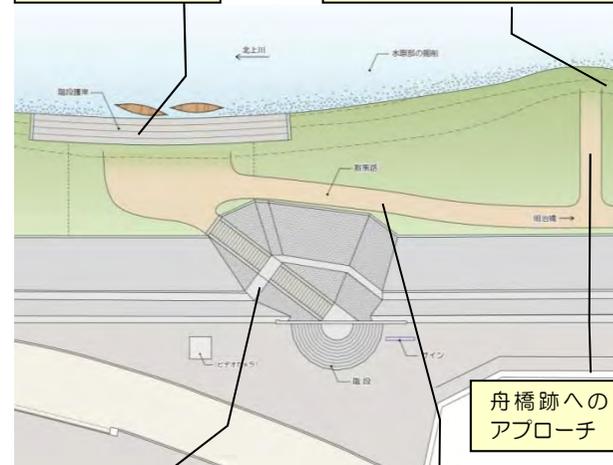


検討会意見を反映し、礫河原を階段護岸に修正



船着き場として自然石張り階段護岸を整備

舟橋のあった位置に説明サインを設置



踊り場を中間地点に変更

歴史的景観を偲びながら歩ける散策路を整備

## (2)かわまち勉強会の開催

### 2)開催結果(サケを観光資源としたまちおこしについて)

#### ■テーマ1:サケを観察しやすい整備について

＜サケを観察しやすい整備についての意見＞

- ・サケの観察ポイントとして、浅岸橋はすごくいい場所である。散策路をもってくれば、目の前でサケを観察できる。
- ・浅岸橋の問題は、橋が狭いこと、車を停める場所がないこと。また、下に下りる整備ができていない。
- ・ブルドーザーで河床を掘ることは理想かもしれないが、町内会なりボランティアが定期的に参加できれば良い。



・観察場所のアクセス、駐車場所などについて、今後も具体的に検討していくことを確認。



#### ■テーマ2:サケを資源とした観光のための情報提供のあり方について

＜サケ観光資源とした情報提供についての意見＞

- ・広報の看板について、日付よりも上旬、中旬、下旬の区分で十分だと思う。また、主な産卵場所が記載してあれば良い。デザインは良いと思うので、場所と数を考えて配置しなければいけない。



・看板はデザインを修正し、実現化する。  
・情報提供について、インターネットによる広報なども含め、具体的なサービスの検討を進める。



既存のサインシステムに引っ掛けられるようにデザイン

・日付はプレートはめ込み式にし、自由に変更可能とする。  
・プレート管理者は、自治会を含め、地域内で検討する。

# (3) 河川イベントの実施(かわまちづくり事業範囲)

## ■H25年利用イベント一覧

開催日	イベント名	開催場所
3/10	祈りの灯火2013 ～心をひとつに～	中津川
3/16	さけの赤ちゃん放流会	中津川
4/29	盛岡市消防演習	中津川
6/2	大盛岡神輿祭	中津川
6/8	チャグチャグ馬コ	中津川
6/15	えきいき沿線特産市	北上川
7/28	盛岡・北上川ゴムボート川下り大会	北上川
8/16	盛岡舟っこ流し	北上川
8/25	内丸大縁日 (24時間テレビ)	中津川
9/14 ～16	盛岡秋まつり ～八幡宮祭典～	中津川
9/28 ～29	ミルク&ワインフェアくず まき高原牧場IN中津川	中津川
12/14 ～15	岩手の鮭まつり	中津川

## ■実施状況

毎年、北上川や中津川で開催されるイベントの数は、ほぼ横ばいであるが、多くのイベントに利用されている。



祈りの灯火2013  
～心をひとつに～



さけの赤ちゃん放流会



盛岡市消防演習



大盛岡神輿祭



チャグチャグ馬コ



えきいき沿線特産市



盛岡・北上川ゴムボート川下り大会



盛岡舟っこ流し



内丸大縁日(24時間テレビ)



盛岡秋まつり  
～八幡宮祭典～



ミルク&ワインフェア  
くずまき高原牧場  
IN中津川

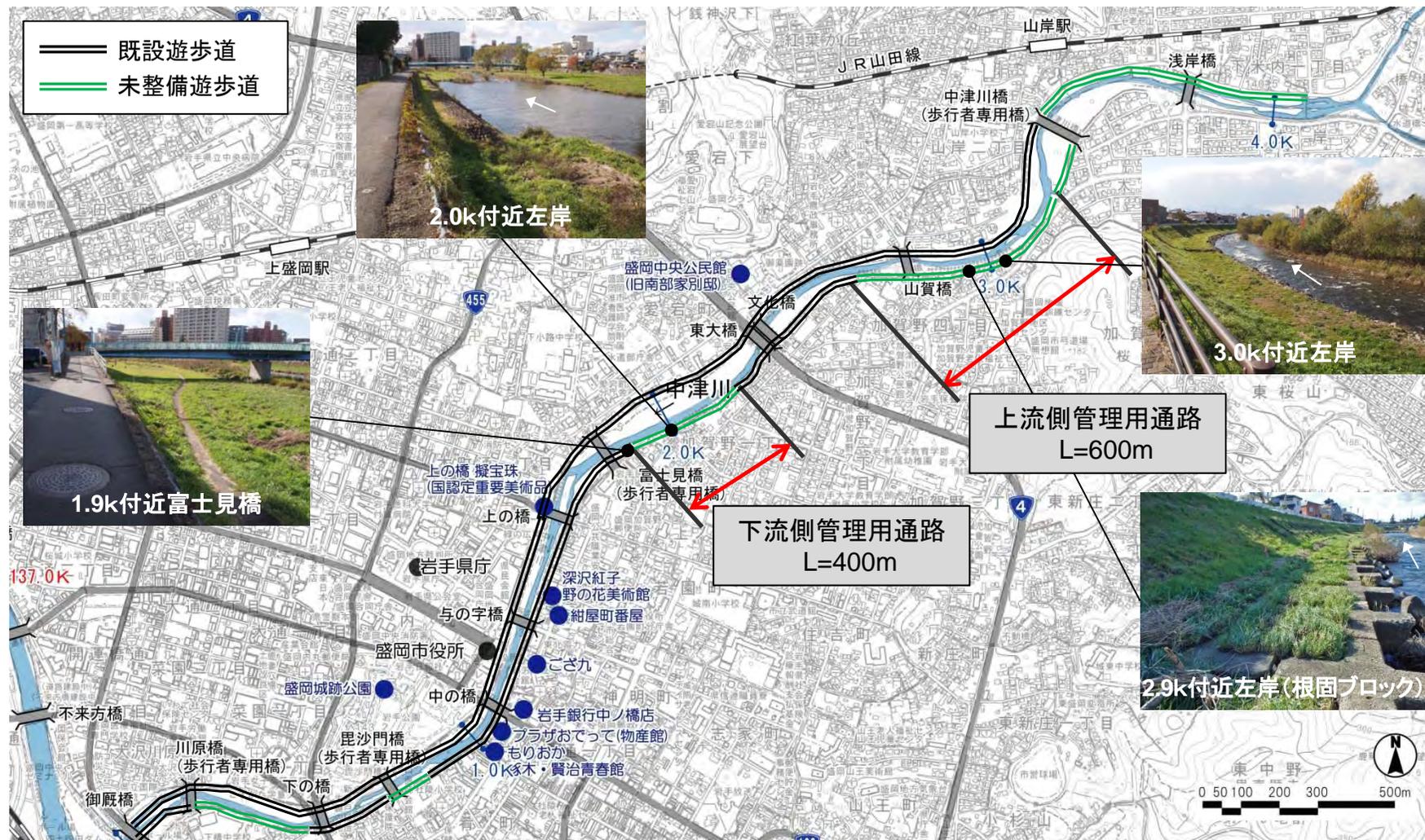


岩手の鮭まつり

# (4)-① 管理用通路の設計

## ■ 管理用通路(遊歩道)の延伸による水辺の回遊性の向上

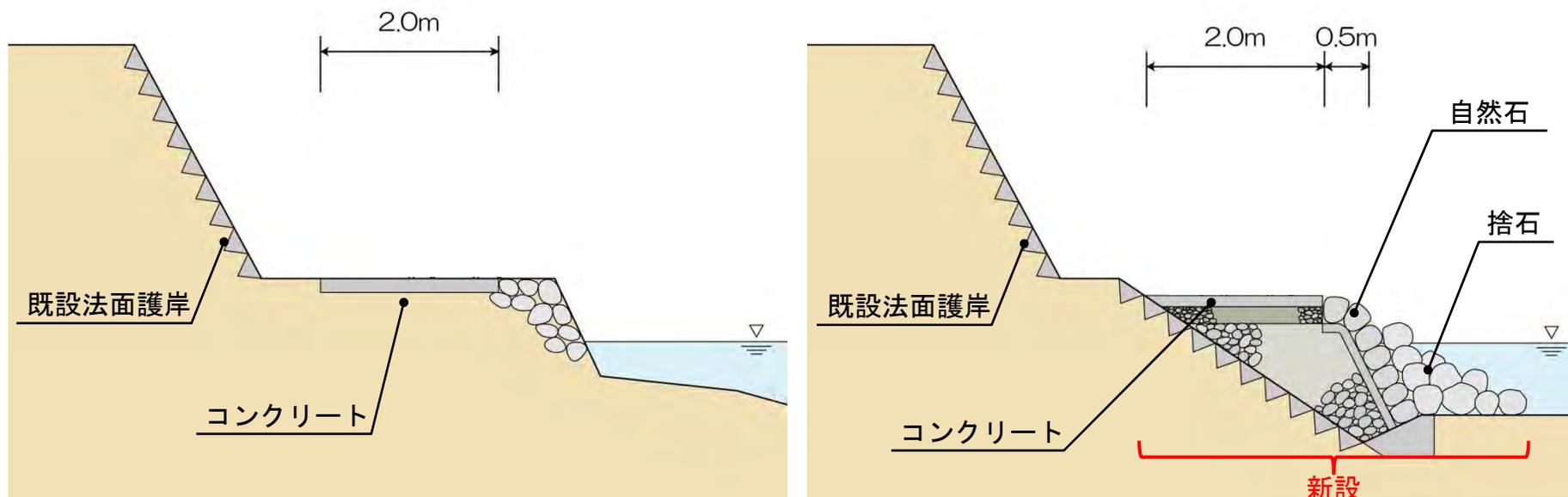
中津川遊歩道の未整備区間の整備を推進し、水辺の回遊性の向上を図る。



## (4)-① 管理用通路の設計

### ■設計方針

- 既往の遊歩道と同等の幅員2.0mを基本とする。
- 高水敷に設置できない場合は、根固ブロックや護岸と一体化させた構造とする。



高水敷に設置できる場合の遊歩道イメージ

高水敷が狭く幅員が確保できない箇所  
(遊歩道を護岸を一体化して整備したイメージ)



既設の遊歩道



遊歩道を高水敷に整備したイメージ



遊歩道を護岸と一体化して整備したイメージ

## (4)-② 中州撤去

### ■課題・問題点

- 中津川では、近年、高水敷や中州の拡大、樹木の繁茂によってかつての景観が失われ、昔ながらの良好な河川利用ができなくなっている。
- かわまちづくりワークショップの中で、中州の樹木の繁茂により景観が悪化しているという市民の要望が挙げられている。
- サケの産卵床等に配慮しながら中州の撤去等を行い、生物の生育・生息の場として、良好な自然景観の保全・創出を図る。

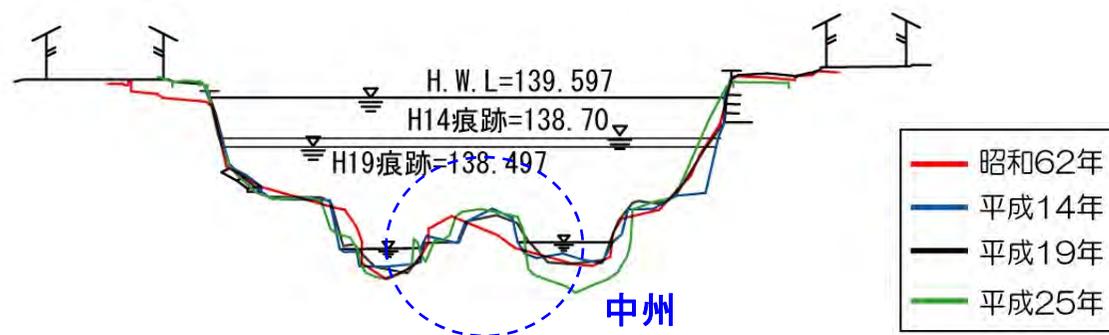


\*かわまち勉強会参加者からの提供写真

## (4)-② 中州撤去

### ■ 中州の経年変化

左岸側上流部では、滞筋が堤防に接近しており、その延長は徐々に長くなってきている。



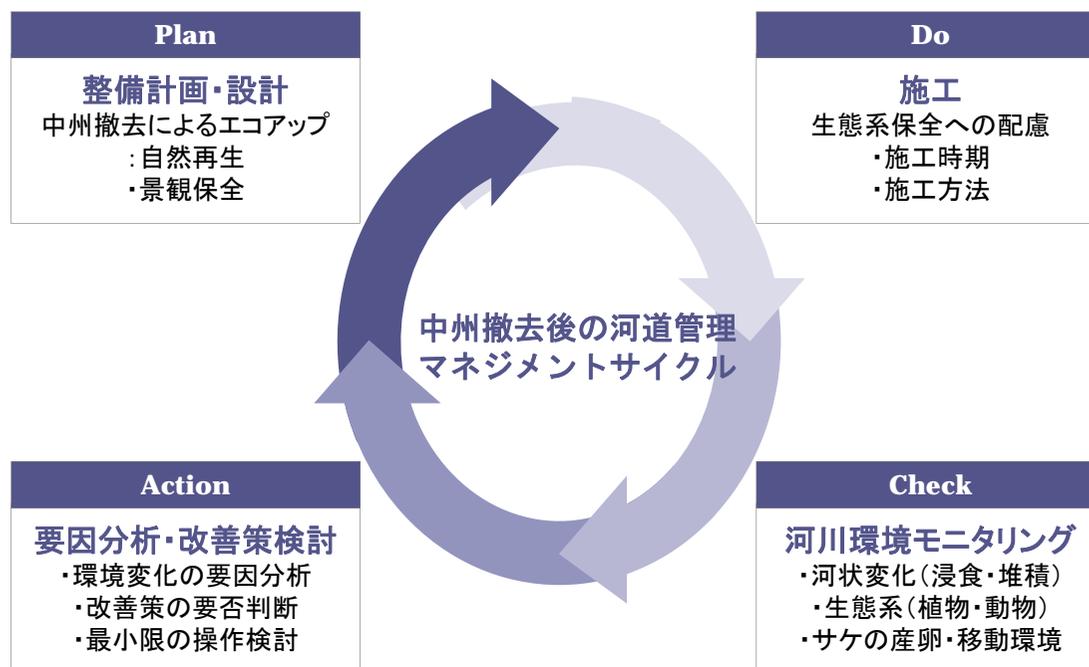
滞筋の堤防接近延長が長くなってきている

## (4)-② 中州撤去

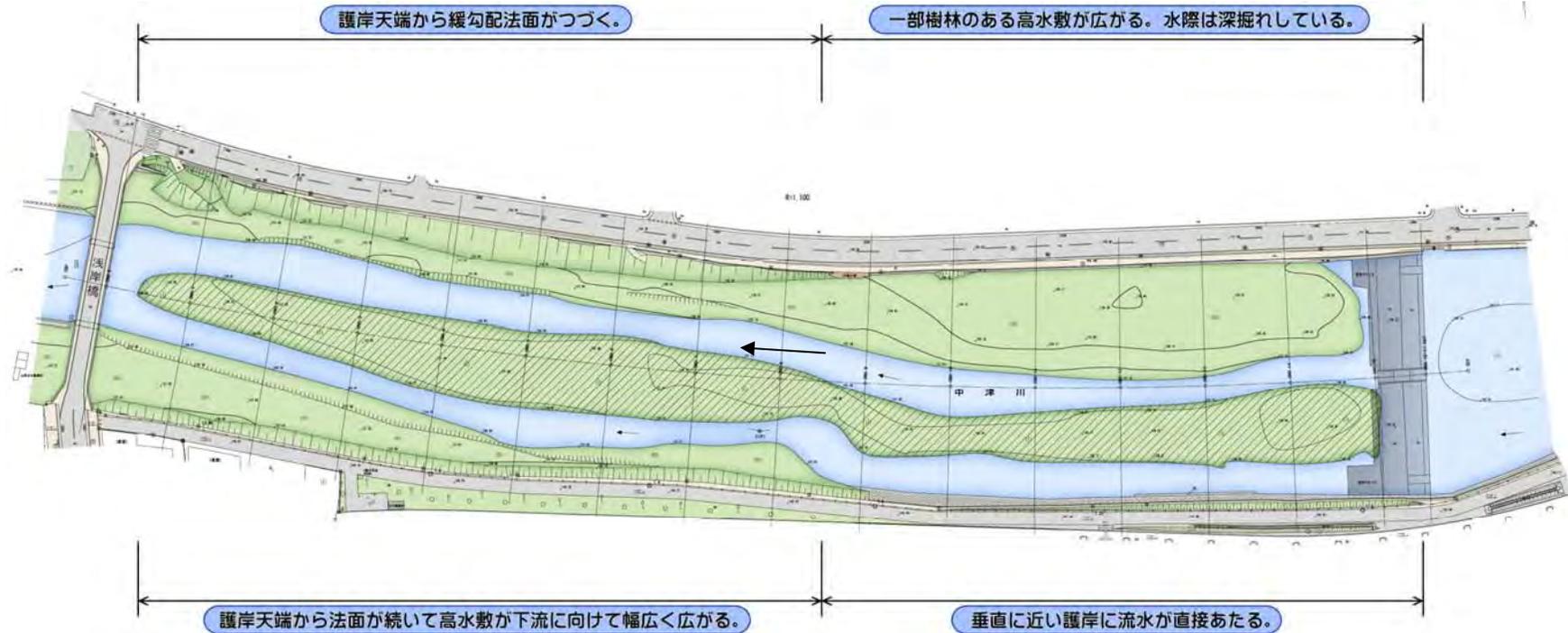
### ■ 浅岸橋上流における中州撤去の方針

- 中州撤去の**施工時期は、サケの遡上・産卵時期を避けて、1～3月とする。**
- 中州撤去の河床高は、**二つの滞筋高い方の左岸側河床高と同等**とし、平常時においても一定の水深を確保する。
- 中州撤去後の河道防御および、河道維持のため、固定堰直下の左岸側に**水制工※を設置**する。
- 中州撤去後の維持管理方法については、**PDCAのマネジメントサイクルの考え方**にて、対応する。

※水制工...堤防、護岸、河岸 または河床を守るため、もしくは流水の方向を変えるため設置される施設である。  
浅岸橋上流では、水はねの効果により、滞筋の流れを中央部の方向にコントロールする。



## ■ 現況特性



浅岸橋から上流方向



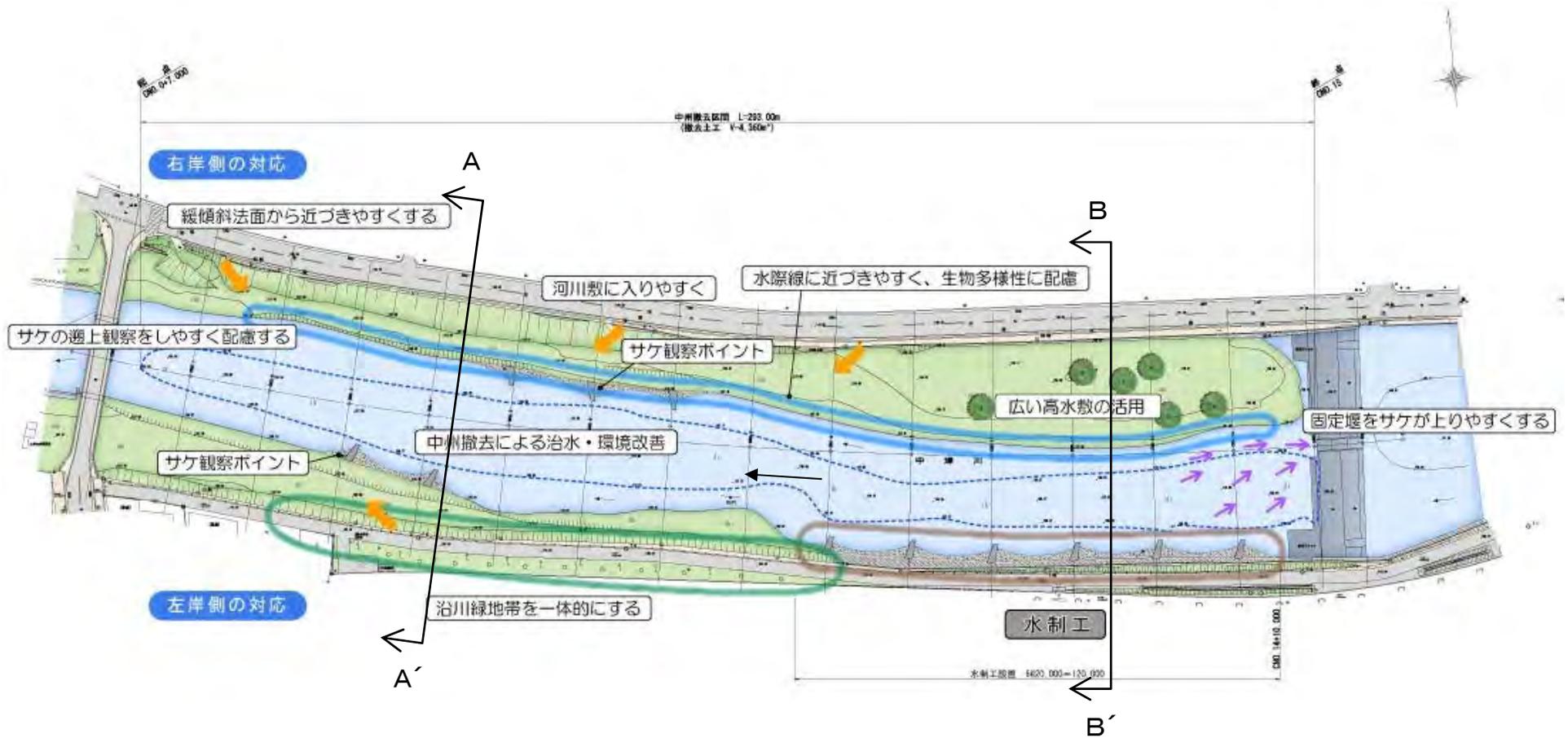
固定堰左岸から中州



4.1k 右岸から固定堰

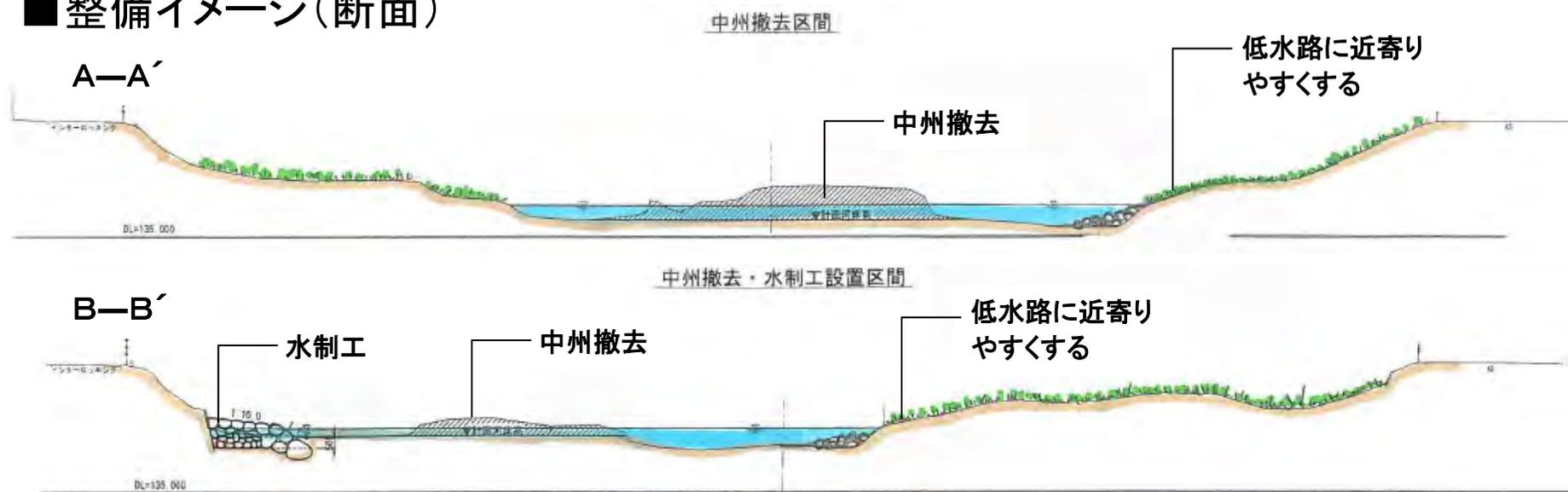
# (4)-② 中州撤去

## ■ 整備イメージ(平面)

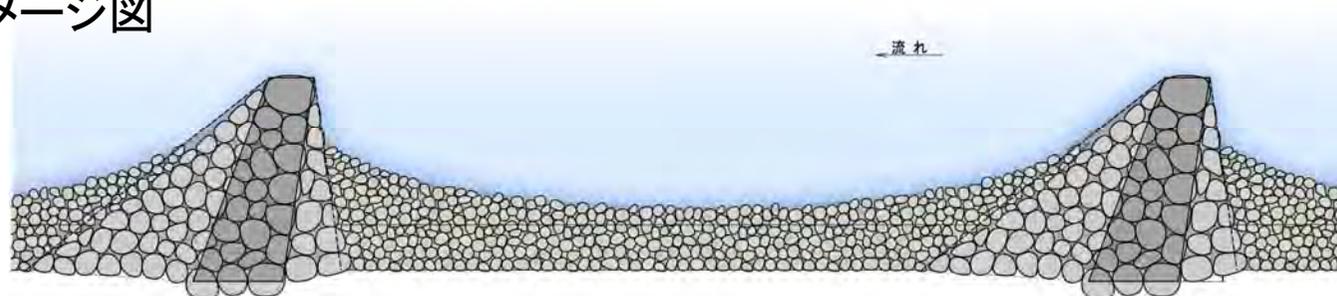


## (4)-② 中州撤去

### ■ 整備イメージ(断面)



### ■ 水制工イメージ図



中州を撤去し、水制を設置したイメージ

## ■ 塗装色の確認 (H23)

パラペット部塗装現地検討会を実施し、塗装・仕様を決定した。



○ 石材調塗装の薄い  
グレー系に決定した。

特殊堤防護岸パラペット部  
塗装現地検討会

平成23年12月16日

## ■ 現地確認 (H24)

H24年度懇談会にて現地見学会を開催し、試験塗装後の状況を確認。



試験塗装の色が明るすぎると  
いう意見があった。

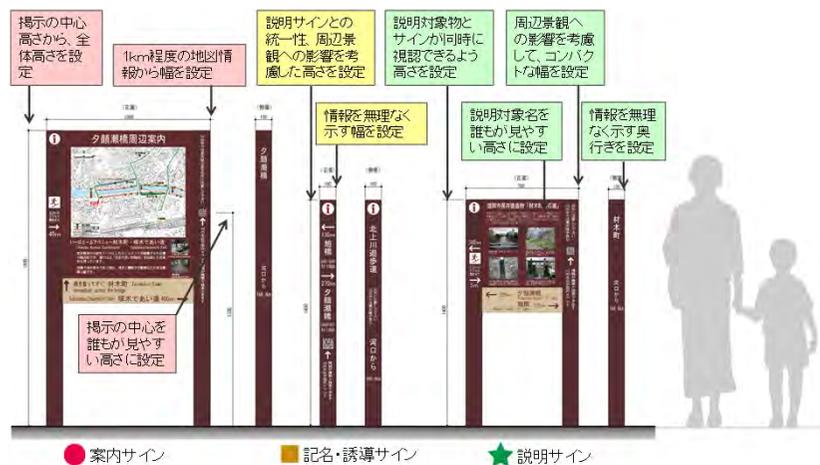


今回の懇談会で見本及び  
現地に見本を置いた写真で決定

# サインシステムについて

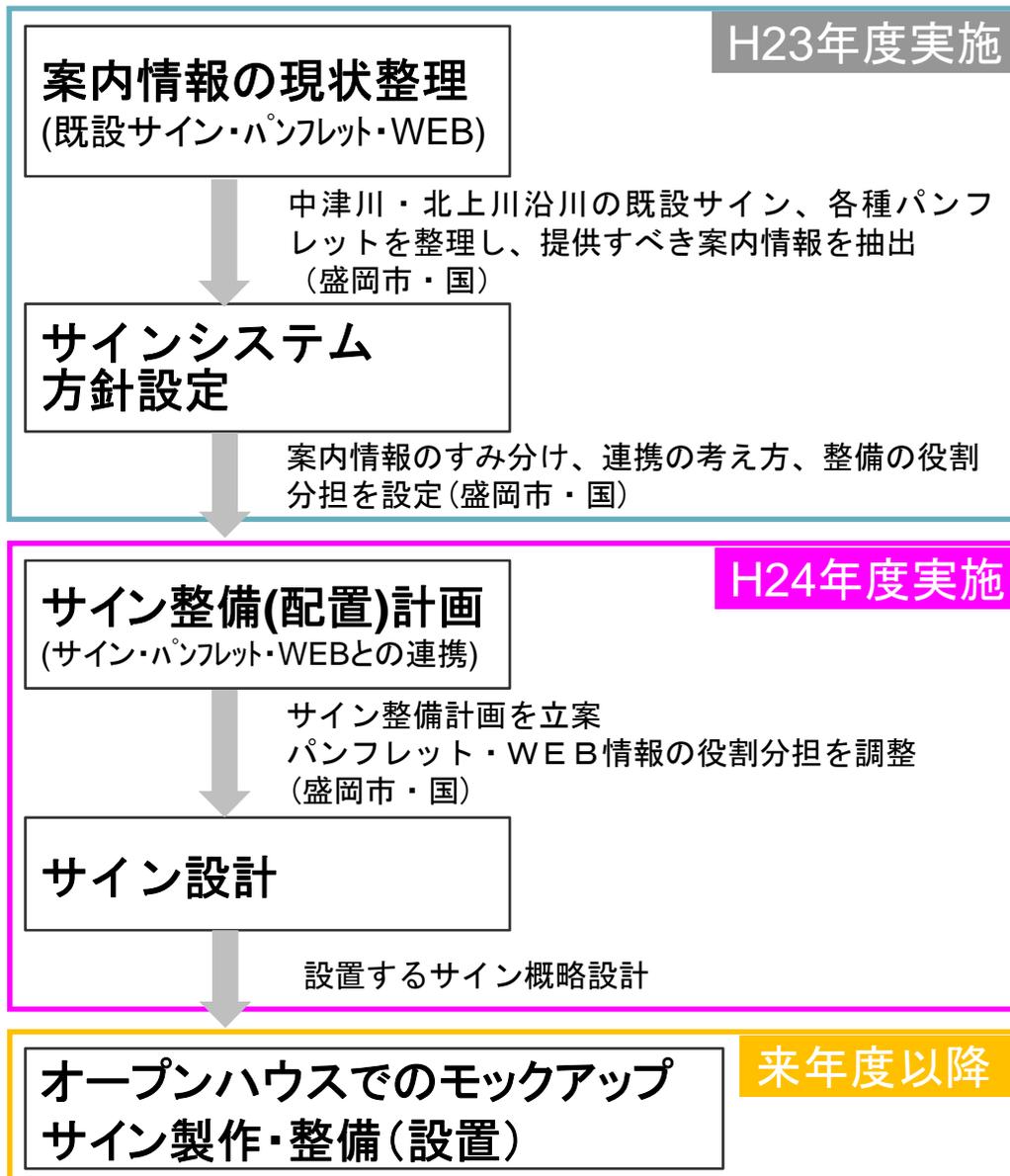
## 【サイン設置等の考え方】

- 中津川と北上川の来訪者を対象に、かわとまちが連携した統一感のあるサイン整備を進めていく。
- サインシステムの整備は、盛岡市・国が連携・調整を行い、提供する情報、役割分担等を検討する。



**H24年度懇談会で内容確認済**

## ■サインシステムの整備に向けて（進め方(案)）



## ■H25年度検討 サケの遡上情報広報のためのサイン（案）



# 今後の予定について

	盛岡かわまち懇談会	ワークショップ/オープンハウス/アンケート			かわまち勉強会
		中津川 (上の橋～下の橋)	北上川 (三川合流点～明治橋下流)	中津川 (浅岸橋～上の橋, 下の橋～三川合流点) 北上川 (夕顔瀬橋～三川合流点)	
H21	第1～3回懇談会				
H22	第4回懇談会 第5回懇談会	中津川WS(3回:7月～9月) オープンハウス(2回)	北上川WS(2回:12月～1月) ○市民からの提案書作成	中津川・北上川WS (5回:8月～12月) オープンハウス	市民主体のかわづくりに移行する
H23	第6回懇談会(6/20) 第7回懇談会(3/9)				設立準備会(8月) (メンバー選定) 1 かわまち勉強会 (10月) テーマ ・検討の枠組みについて
H24	第8回懇談会(3/14)	オープンハウス			2 かわまち勉強会 (1月) テーマ ・北上川:新山河岸とのつながり ・中津川:中津川全体の維持管理
H25	第9回懇談会(本日) ○オープンハウス・勉強会報告 ○平成24年度設計内容報告 ○特殊堤の色彩確認 ○サインシステム意見交換	オープンハウス			3 かわまち勉強会 (9月) 4 かわまち勉強会 (11月) テーマ ・北上川:新山河岸での取り組み ・中津川:サケを観光資源としたまちおこし
H26 ～	懇談会の継続 ○かわまちな整備や活動に関する報告 ○かわまち勉強会の報告等	オープンハウス			かわまち勉強会 適宜開催 かわまち勉強会のテーマ案 ・河川情報発信のあり方(サイン設置等) ・オープンカフェの実現に向けて